



有松まちづくりの会役員会（11月23日）

- ・ 日本遺産関連事業進捗状況の報告：令和3年度継続・新規事業の提案に36件の申込。
- ・ その他の事業報告等：「晩秋の有松」盛況（2日間入館者：岡家住宅630名、山車会館550名）
- ・ 予定 ① 文化財防火デー消防訓練 令和3年1月23日（土）
② 「福よせ雛」2021年2月20日（土）～3月20日（土）

◇連続まちづくりセミナー開催のお知らせ ※いずれも18:00～19:30（絞会館での公開は中止）

持続的なまちづくりの可能性を探る全3回のオンラインセミナー。多様な価値観を地域に反映させた先進的事例を担う事業者・研究者を講師にお招きして行います。

#01 2020/11/27（金）「クラフトツーリズムが拓く新しい産地コミュニティ」新山直広氏

#02 2020/12/20（日）「ストリートデザインと歩くまちづくり」泉山壘威氏

#03 2021/01/17（日）「円頓寺商店街におけるナゴノダナバンクの取り組み」市原正人氏

桶狭間古戦場公園銅像建立10周年記念式典行われる（11月1日）

桶狭間古戦場公園の銅像2体（織田信長と今川義元）の建立10周年を記念して、銅像制作者や地元の皆さんへの感謝イベントが開催されました。

13時、名古屋おもてなし武将隊によるオープニングイベントの後、古戦場保存会の梶野泉氏や名古屋市河村たかし氏など公職者からお祝いの言葉がありました。

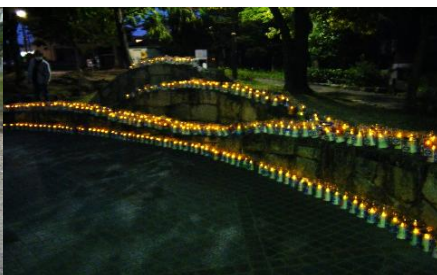
式典に続き、様々な団体によるステージ発表が行われました。力強い音色の桶狭間太鼓や桶狭間を題材にした桶狭間小学校児童による歌などが披露されました。リニューアルされた古戦場保存会のゆるキャラ”おけわんこ”のお披露目も行われていました。

16時半、万燈会の灯籠に点火。戦没者の供養とコロナ禍の終息を願って行われました。



上：オープニングイベント

下：万燈会



晩秋の有松を楽しむ会 2020 開催（11月14日・15日）

新型コロナ感染拡大により絞りまつり(6月)や山車まつり(10月)が中止となった有松に活気が戻ってきました。第3波が懸念される中、東海道には着物で着飾った人が大勢見られました。いけばな・音楽・お茶席・着物を有松の町並みと共に楽しもうと行われました。

第13回いけばなスペース花展

東海道の町家軒下に個人作品やグループ合作が展示されていました。棚橋家住宅前で作品作りをしていた方にお話を伺うと、「竹の切り出しから始まった準備に約1ヶ月ほどかかっています。今年はより独創的なものに挑戦しました。この生け花の“激しさ”が古い町並みに合うか心配です」との事。



彩雲

秋空に夕日を浴びた彩雲をイメージした作品。



竹の Rond

Rondとは音楽用語で輪唱。竹が合唱している様な作品。

個人作品



町家ライブ

14日：晩秋の箏の調べ 杉浦充

晩秋の彩り三味線ユニット

佐藤史緒・加藤奏山・平手裕紀

15日：晩秋の二胡の調べ 中村ゆみこ

様々なジャンルの演奏家が秋深まる

庭をバックに渾身の演奏を披露。



三味線ユニット



二胡の調べ

有松あないびとの会町並みツアー

岡家住宅と山車会館を出発場所に散策希望者をご案内（両日合わせて、岡家住宅では15組、山車会館では26組）。「やはり案内していただきながら見るとよく分かりますね」と仰って下さる方が多かったです。

お茶席・お手前と話

14代将軍家茂をお迎えした竹田家住宅”栽松庵”の続きの座敷でお茶席の説明会が行われました。コロナ禍でお抹茶の提供はありませんでした。



岡家住宅



山車会館



竹田家住宅 画：湯地昭夫氏

晩秋の有松を楽しむ会と同日開催

有松ミチアカリ(11月14日)

今年で5回目を迎えるミチアカリ、今年のテーマは「希望の灯」。コロナ退散を願ってです。活動の代表の大島一浩さんにお伺いすると「今年は中止を考えていたが、(制作サポーターの)学生達が”やりたい”と言うので実施することにした」と。1週間前、天満社近くの作業場に伺うと、直径10cmほどの竹を所定の長さに切ったり、型紙を貼った上からドリルで様々な大きさの穴を開けたりしていました。このオブジェは、当日小塚家住宅の軒下と安藤家住宅前に設置され、夕方火が灯されると幻想的な雰囲気が醸し出されていました。その2時間余りの時間、実施日非公開でしたが、名城大の学生10数名始め多くの人が見学に来ていました。

名二環下
作業風景



アリマツマーケット(11月15日)

アリマツマーケットとは、有松天満社一帯で開催されるものづくり文化に触れる体験型マーケットのこと。「食べる」「買い物をする」だけでなくワークショップや休憩スペースも用意され、訪れた人々がくつろげるように工夫されていました。

藍染川を渡り鳥居をくぐると、名古屋芸術大学の学生さんの絞り店がありました。雪花絞りが置かれ、張正やスズサンで染めたとのこと。その横に子供の遊び場が用意されていました。お子さん連れが多い理由が分かりました。長い参道を登ると若い人向けの店が10軒ほど。体験コーナーを置いている店が多く、その中の1軒cucuriでは形状記憶のエコバッグ作りがされていました。



絞会館と私 2 皇太子ご夫妻のご訪問

平成18年(2006)から8年かけて行われた東海道の無電柱化は有松に青空とともに賑わいをもたらすきっかけになりました。これより更に20年程前の昭和62年(1987)、皇太子ご夫妻が絞りの見学に絞会館にいらっしゃったことで、有松の町並みは目に見えて美しく整えられたようです。歩道と車道の色分けや側溝へのふたの取り付けもされました。

そして、開館3年目の絞会館は受け入れに大忙しでした。展示内容が具体的に決められたのは2週間前。資料室には歴史文書・広重等の版画・明治期の作品・山車人形が展示されました。1階売場は総入れ替え、2階には括りの実演スペース(6種類)が設けられました。

11月10日当日は素晴らしい秋日和。10:17到着、出迎えの人々から祝いの小旗と共に歓声が湧き上がったそうです。ご夫婦はにこやかに挨拶の手を振られ、入館。絞りのネクタイとお手玉をお買い上げ。実演の方々一人一人に声を掛けられていました。緊張のあまりお顔を見ることもなく足下しか見られなかった人もいたそうです。資料室も興味深くご覧になられ、お茶を飲まれてご休憩。約40分の滞在で、お帰りになりました。

絞会館職員として接待にあたった伊東葉子さんは次のように思い出を語ってくださいました。

妃殿下はとにかく美しい方でした。緊張でお顔をきちんと見るできませんでした。足先まできれいな方でした。帰られた後、休憩の時のお茶の片付けに行くとテーブルの上にお茶菓子の和紙で作られた折り鶴が置いてありました。そのお気遣いをみて、心まで美しい方とつくづく思いました。思えば、お買い物時も「紀宮様に」とお手玉を買われていました。

当日ばかりでなく前日までも大変。地元のお巡りさんは絞会館に幾度もいらして顔なじみになるほどでした。会館周辺のチェックも厳しくマンホールの中まで調べていました。今でも当日のことはしっかり覚えています。



括り実演を参観されるご夫婦



中央が伊東さん

催事・行事の予定

- | | | | |
|------------|-------|----------------|----------------|
| 12月06日(日) | 07:30 | かえで道清掃 | 有松まちづくりの会 |
| 〃 | 09:00 | 有松東海道青空市 | 商工会周り 青空市運営委員会 |
| 12月16日(水) | 19:00 | 有松秋葉大社祭(どんど焼き) | 祇園寺 文嶺講 |
| 12月20日(日) | 07:30 | かえで道清掃 | 有松まちづくりの会 |
| 12月21日(月) | 18:00 | 有松町並み相談会 | コミセン |
| 12月28日(月) | 18:00 | 有松まちづくりの会役員会 | コミセン |
| 01月01日(金) | 00:00 | 開門 | 有松天満社 文嶺講 |
| 01月01日~03日 | 09:00 | 元旦祭 | 有松天満社 文嶺講 |



新型コロナウイルスの影響により変更となる場合があります。

発行 者:竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 会長)

編集 者:加藤 一成(有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671

E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

有松まちづくりの会は、ホームページを公開しています。

有松のまち

検索